

第73回 社会を明るくする運動

～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～

“社会を明るくする運動”はすべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場で力を合わせ、犯罪や非行のない地域社会を築くための全国的な運動です。

6月13日(火)、地場産業振興センターにおいて、社明金沢市推進委員会が開催されました。また、7月3日(月)には、金沢市役所市長室において、米澤明孝金沢保護司会会長から、村山卓金沢市長に「犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ」推進の内閣総理大臣のメッセージが手渡されました。



7月9日(日)金沢市役所前広場において広報車の出発式を行いました。今回は、田上本町たいこ倶楽部の演奏で出発式に花を添えていただきました。



配布グッズ

子どもたちにも「はい、どうぞ」



田上本町たいこ倶楽部の演奏

各分区&地域の活動



7月8日(土) イオンもりの里店前(東分区)



7月15日(土) 金沢港クルーズターミナル(金石分区)



7月17日(月) アル・プラザ金沢前(西分区)



7月23日(日) アルビス泉が丘中央店前(南東分区)



7月23日(日) アルビス西南部店前(南西分区)



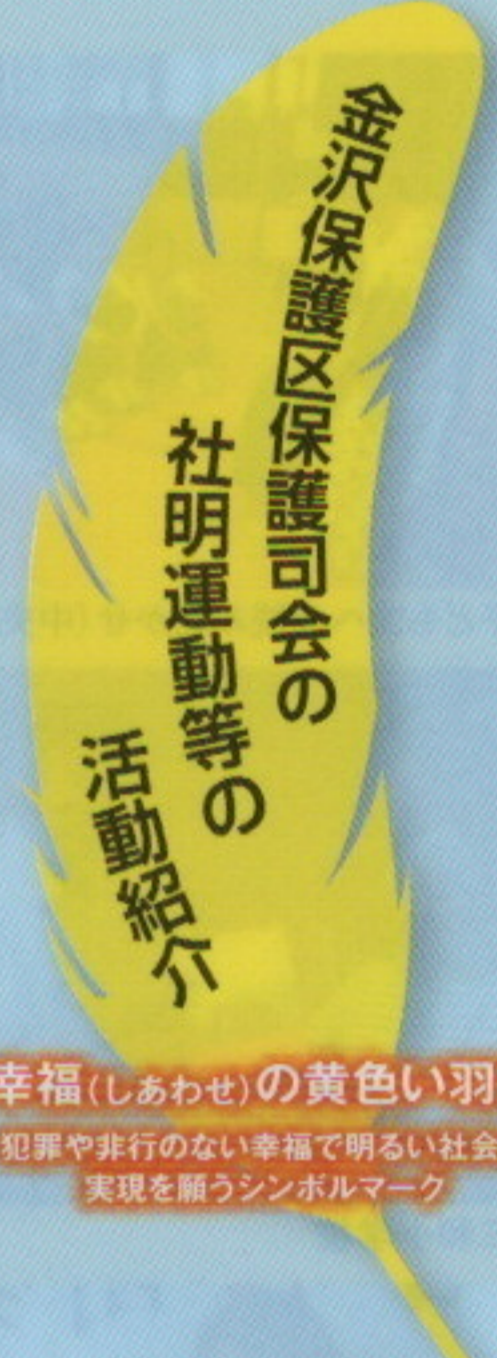
7月29日(土) アルビス高柳店前(北分区)



7月21日(金) 小立野地区お話しの夕べ



7月18日(火) 安原地区健全育成講演会



ツエーゲン金沢主催 試合広報活動



感動をツエーゲンとともに! 都市(まち)が元気だから会社も元気 米沢電気グループ



9月2日(土) ツエーゲン金沢主催試合 広報活動

あいさつ運動



7月4日(火) 大徳中学校



7月4日(火) 野田中学校



7月5日(水) 金石中学校



7月13日(木) 緑中学校



7月14日(金) 浅野川中学校

小学校との連携事業



金沢保護区保護司会では、小学校との連携事業の一環として、今年も市内の全小学校に「わすれもの」の絵本を寄贈しました。

このほかに、小学校とは、標語の募集、あいさつ運動等の連携活動を行っています。



▲子ども達への読み聞かせ(中央小学校)



▲子ども達への読み聞かせ(夕日寺小学校)



▲子ども達への読み聞かせ(木曳野小学校)



▲三和小学校



▲金沢大学附属小学校



▲粟崎小学校



▲大浦小学校



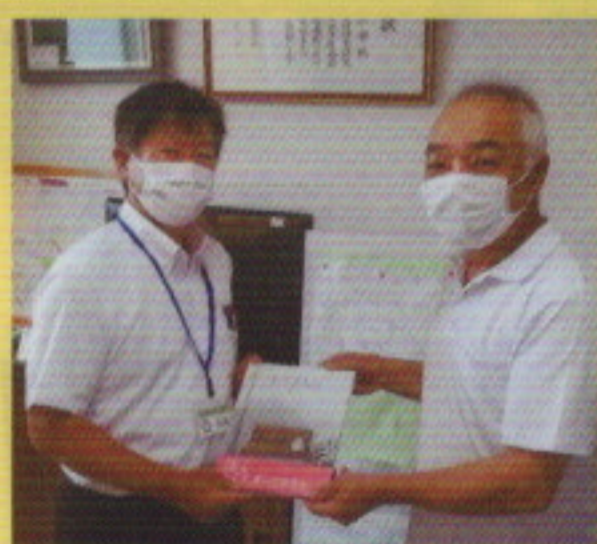
▲明成小学校



▲朝霧台小学校



▲鞍月小学校



▲伏見台小学校



▲米泉小学校



▲田上小学校



▲森本小学校



▲泉小学校



▲安原小学校



▲中央小学校



▲米丸小学校



▲小坂小学校



▲諸江町小学校



▲杜の里小学校



▲浅野川小学校



▲扇台小学校



▲西小学校



▲木曳野小学校



▲押野小学校



▲西南部中学校



中学校との連携事業

金沢保護区保護司会では、今年も市内の全中学校に「バスが来ましたよ」の絵本を寄贈しました。そのほかにも、保護司と教師との連携協議会、あいさつ運動等の事業を実施していく予定です。



▲港中学校



▲緑中学校



▲浅野川中学校



▲高岡中学校



▲兼六中学校



▲金沢大学附属中学校

中学校との連携事業(金石分区)

金石分区 四藤 真以

令和5年6月9日(金)、金石分区中学校連絡協議会が、金沢市立大徳中学校で開催されました。

保護司22名(内他分区より3名)、分区内中学校5校の校長、生徒指導教諭が10名、計32名の参加でした。

分区内の中学校と保護司とが一堂に会する協議会を設置しているのは当分区だけであり、一堂に会することにより、相互の理解と連携を深める機会とするのがこの連絡協議会の趣旨です。

当日は、初めに各中学校から生徒の状況が報告されました。その中で、各学校で共通して懸念しているのがスマートフォンによるSNSのトラブルに遭わないかということ、常に注意喚起をしているということでした。

次に、金沢保護観察所保護観察官の中村美雪氏より「分区内の保護観察の状況と保護司の任務」について説明を



していただき、各学校の教諭の方は真剣な表情で観察官の話に耳を傾けておられました。

最後に、中学校校区ごとの分科会という形で、お互いに話せる範囲内でエピソードなどを交えながら積極的な情報交換がなされていたようで、保護司も学校の先生方も有意義な時間となったのではないのでしょうか。

公開ケース研究会

東分区 清水 明

令和5年7月11日(火)、石川県青少年総合研修センターにて第73回「社会を明るくする運動」強調月間にあわせて「公開ケース研究会」が開催されました。

新型コロナウイルス感染症もこの5月から、感染症法上2類から5類となり、社会活動も徐々に再開されてきております。社会活動が再開されたこの時期に適した今回のテーマは、最近話題の「闇バイト」についてです。分区内11地区

の地域の校下・地区諸団体、学校関係者や金沢東地区更生保護女性会、金沢市BBS連盟の方々に参加していただき、辻健一主任保護観察官からテーマについて現状説明。ビデオ上映の後に6テーブルで約20分間の討議をしていただきました。それぞれの立場から様々な意見があり、時間が足りず意見を伺



えなかつた方もいるほど白熱していました。各グループの発表者の中には、人と人とのコミュニケーションが不足し社会的に孤立してしまつた若者が、安易に「闇バイト」に誘い込まれてしまつているのではないかと、核家族が進み両親が共稼ぎで家庭内でもコミュニケーションが不足し、自分の居場所も見つけられず、親や友人にも悩みを相談できない若者が増えてきているようにも思われる。そんな若者に学校や地域住民に何かできることはないかなどの意見も出しました。

今回の「公開ケース研究会」は、初めて体験する保護司も多く準備にも時間がかかりました。また、地域の町会各種団体・学校関係者・更生保護女性会・BBS連盟の方々に御協力をいただき、とても有意義な会となりました。

こうして地域の皆さんに参加していただいた機会を大切に、今後の更生保護に理解を深める活動を続けていくためのよい機会となりました。

第46回 有名作家チャリティ作品展

◆金沢エムザ2階「エムザギャラリー」

◆令和5年7月28日(金)～7月31日(月)

◆第46回「有名作家チャリティ作品展」

出品者御芳名(順不同)

- 石瀬 律子 市川 篤 宇野のり子
江守マリ子 大橋 吉郎 海道 正人
加賀谷多枝 加藤 華京 北川 和子
笹田 幸子 笹田 和弘 高野 郁子
高畠 紫香 竜生 成麻 土田 貴夫
寺尾ユリ子 戸田 博子 中川 琴鈴
中村 桂翠 中山 和良 西野健太郎
聖川 重俊 前田真知子 三輪由紀子
向 千恵子 村上 秀康 森 左馬尉
安野 喜隆 山下 美幸 山岸 光代
吉川 浩市 吉塚 春生

編集後記

今年の夏は県内でとうとう気温40度超えの地域が出た。まさに「温暖化」が終わって「沸騰化」時代への突入である。加えて物価の高騰、特に急激なガソリンの値上げ、郊外から通う身にとって家計はオーバードライブ、財布の中も蒸発寸前である。「偉大なものは嵐の中に育つ」「包丁は砥石において切物となる」、先達の言葉である。この厳しさも我が身を鍛えてくれる御縁であろうか。今回は写真が多くなりました。「目は口ほどに物を言う」といいます。日頃の活動状況を目でしっかりと確かめていただければ幸いです。残暑厳しい折柄、下半期も順調に活動できますことを願うとともに、皆様くれぐれも御自愛専一にお過ごしください。御念じ申し上げます。(東分区 定舎 浩吉)

発行者 金沢市高岡町7-25

松ヶ枝福祉館4階

金沢保護区保護司会

会長 米澤 明孝

発行日 令和5年9月30日